



2020年サントリー地域文化賞受賞

2023年新潟日報文化賞受賞

人形浄瑠璃猿八座

こくせんや

国性爺

かつせん

合戦

ドナルド・キーンが
博士論文にとりあげた、
近松門左衛門の大ヒット作。
モデルとなった^{ていせいこう}鄭成功の
生誕400年を記念し、
舞台の地、平戸からスタートした
話題の公演が、早くも柏崎に！



2024年

11月24日(日)

13:00 開場 13:30 開演 15:30 終演予定

会場 | ドナルド・キーン・センター柏崎 3階 多目的ホール

定員 | 50名(要予約)

鑑賞料 | 1,000円(全額を猿八座にお渡します。)

※入館料は別途必要です。

問合せ | 0257-28-5755(ドナルド・キーン・センター柏崎)

主催 | 公益財団法人ブルボン吉田記念財団

協力 | 人形浄瑠璃 猿八座



ドナルド・キーン・センター柏崎
DONALD KEENE CENTER KASHIWAZAKI

〒945-0063 新潟県柏崎市諏訪町 10-17 電話・FAX 0257-28-5755

国性爺とは……

この浄瑠璃の主人公「和藤内」のモデルである鄭成功は、父の祖国、明を再興しようと平戸から中国へ渡り、その活躍により皇帝から「朱」の姓を賜ったので、国姓(性)爺(「爺」は敬称)と呼ばれた。明朝の再興は果たせなかったが台湾をオランダの支配から解放し、台湾、中国では今も英雄視されている。鎖国下の日本でも人気を集め、近松は史実を脚色して彼を主人公にこの作品を書いた。1715年の初演。17か月連続上演の大当たりとなった。

出演 人形浄瑠璃 猿八座

人形 和泉 猿丸 稲村 猿久 遠藤 俊八 篠田 八助 永野 八尋

西橋 八郎兵衛 長谷川 眞八 逸見 八里 堀 八島

浄瑠璃 渡部 八太夫 舞台監督 高橋 八重 解説 川村 知行



登場人物



りゅうかくん
柳歌君

明の忠臣の妻
梅檀皇女を敵か
ら守り、舟に乗
せて海に逃す



せんだんこうによ
梅檀皇女

明の皇帝の妹
中国から独り
乗る舟で平戸
に漂着する



ごうだつ
剛韃

明を侵す韃靼
勢の武将、柳
歌君と戦い討
たれる



わとうない
和藤内

父は中国人、母は日
本人のハーフ
和でも藤(唐=中国)
でもない(内)という
シャレにより近松が
命名



こむつ
小むつ

和藤内の妻
明に渡る和藤内
から梅檀皇女を
預かり、後に共に
中国へ渡る



ろういっかん
老一官

元の名は鄭芝龍
明朝家臣を退き
来日、平戸の女
性と結婚して和
藤内を儲ける



はは
母

肥前平戸の人
老一官の妻とな
り和藤内を産む
夫と共に中国
へ渡る

あらすじ

初段—芦辺の場—

明は韃靼国に攻められ落城、皇帝夫妻は亡くなる。忠臣呉三桂の妻柳歌君は皇帝の妹梅檀皇女を伴い落ち延びるが韃靼勢は執拗に追って来る。剛韃を討ち取り、奪った舟に皇女を乗せて海に流し、柳歌君は独り岸边に残って防戦する。

二段目—平戸の浦の場—

[浜伝い] 10月のある日、和藤内が妻の小むつと浜で貝拾いをしていると大ハマグリとシギ(鴨)が互いを餌にしようと争っている。和藤内はこれを見て両雄を闘わせて、双方を従える軍法の奥義を悟る。

[もろこし舟] そこに舟が流れ着き梅檀皇女は和藤内夫婦に国の乱れを告げる。小むつは一官夫婦を呼びに家へ戻るが、夫婦は共に不思議な夢を見て住吉詣でに出掛けていた。帰路この場に出会い、和藤内に直ぐに中国へ渡り明朝再興に努めるよう促し、一官夫婦も別の船で出発する。

[とも綱別れ] 小むつは家に誰もいないので浜へ戻ると、和藤内は皇女を乗せて舟出するところ。自分を置き去りにして一家で中国へ渡るのかと思い、小むつは海に身投げしようとする。和藤内は妻の心底を見届け、皇女を妻に預けて一人船出する。夫との別れを悲しみ、石となった松浦さよ姫の如く、小むつは岩頭に駆け上がり夫の名を呼び続けた。

この後中国に渡った和藤内と一官夫婦は、甘輝將軍を味方に付けようと獅子が城に赴く。甘輝の妻錦祥女は一官と亡き先妻との娘であった。韃靼に従いながら明朝に恩を感じる甘輝は妻の自害により和藤内の味方となり、やがて亡き帝の皇子を新帝とする御代となる。

